

# げんでんつるが

特別号  
2013年9月  
第21号

## 福島第一原子力発電所事故を踏まえた 敦賀発電所の安全対策強化の取り組み状況について

日本原子力発電株式会社

当社は、東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、大きな地震や津波が来ても原子炉の冷却機能などを失わないよう安全対策の強化に取り組んでおります。

具体的には、津波から発電所を守る浸水防止対策、外部電源がなくなった時の電源確保対策、万一すべての電源がなくなっても原子炉等へ注水し冷却するための冷却機能確保対策など、設備面での対策をしっかりと行うとともに、あらゆる場面を想定した緊急時対応訓練なども行っています。

今後は、新規規制基準に対応した対策も適切に講じ、さらなる安全対策の強化にも取り組んでまいります。

### 敦賀発電所の安全対策強化の取り組み状況

◎：実施済 ○：実施中又は実施予定

#### ◆設備面の対策

##### 浸水防止対策

安全上重要な設備の津波による浸水防止



水密扉（2号機）

- ◎安全上重要な建屋の扉や貫通部を密封化
- 安全上重要な建屋の扉を水密扉へ取り替え
- 標高8mの防潮堤の設置
- 原子炉補機の冷却用海水ポンプエリアへの防護壁の設置

##### 電源確保対策

電源喪失を起こさないため、電源を多重化・多様化



高圧電源車

- ◎非常用ディーゼル発電機に冷却水を供給する可搬式ポンプを配備
- ◎非常用ディーゼル発電機の代替となる高圧電源車と低圧電源車を配備
- ◎1号機と2号機の間で電源を融通できるように電源ケーブルを敷設
- 恒設の空冷式発電装置の設置

##### 冷却機能確保対策

原子炉や使用済燃料プールの冷却手段を多重化



専用給水配管への接続口

- ◎消防自動車や可搬式ポンプ・ホースを配備（発電所内の複数のタンクなどを水源として活用）
- ◎大容量ポンプ車・ホース延長車を配備
- ◎原子炉の冷却設備や使用済燃料プールへ建屋の外部から直接給水する専用配管を新設

#### ◆体制面・運用面の対策

- ◎運用マニュアルに安全対策を追加・整備
- ◎原子力災害防止にかかわる業務の専任者を新たに配置
- ◎緊急時の対応要員が24時間体制で発電所近傍に待機
- ◎緊急時の模擬訓練を夜間・休日の発生想定を含め、高圧電源車の操作、大容量ポンプ車を使って復水貯蔵タンクへ冷却水を補給する訓練などを継続して実施
- ◎緊急時対応体制と発電所支援体制の強化



災害対策本部の訓練の様子

# 緊急時対応訓練の取り組み状況

## 原子炉等への注水訓練

大容量ポンプ車、消防自動車等を用いた給水訓練などを、夜間・休日の発生想定も含め、継続して実施しています。

### ●消防自動車等を使用した訓練

訓練の実績 (平成23年4月から平成25年8月末までの累計)	498回
-----------------------------------	------



ホース延長車によるホース敷設訓練



大容量ポンプ車へのホース接続訓練



大容量ポンプ車による取水訓練

## 電源確保訓練

高圧電源車の起動訓練や所内電源盤への電源ケーブルのつなぎ込み等の訓練を継続して実施しています。

### ●高圧電源車の起動訓練および電源ケーブル接続訓練

訓練の実績 (平成23年3月から平成25年8月末までの累計)	566回
-----------------------------------	------



高圧電源車起動訓練



夜間のケーブル接続訓練

## その他の訓練

発電所の緊急時に備え、あらゆる場面を想定した各種の訓練を継続して実施しています。

### ●対応要員の発電所への参集訓練 (衛星電話による連絡訓練含む)

- ・発電所近傍に常時待機している初動対応要員の参集
- ・事故時対応要員の敦賀市内からの徒歩による参集

訓練の実績 (平成24年1月から平成25年8月末までの累計)	19回
-----------------------------------	-----

### ●ホイールローダによるがれきの除去訓練

訓練の実績 (平成23年4月から平成25年8月末までの累計)	118回
-----------------------------------	------



市内から徒歩による参集訓練



がれき除去訓練

## 敦賀発電所2号機敷地内破砕帯調査の現状について

当社は、追加調査の報告書を7月11日に原子力規制委員会に提出し、追加調査で得た新たな知見等を十分吟味の上審議し、改めて結論を出すよう強く要望しました。これに対し、原子力規制委員会は8月30日に「敦賀発電所敷地内破砕帯に係る日本原子力発電からの追加調査報告（平成25年7月11日付け）に関する検討会合（第1回）」を開催しました。この会合において、当社から本検討会の位置付けや結論を導くためのプロセス（判断基準を含む）を明確にするよう求めるとともに、現地調査を強く要請しました。

### 《追加調査報告（7月11日）のポイント》

- ・ K断層とG断層及びD-1破砕帯は美浜テフラ（火山灰）を含む12～13万年前の地層に変位・変形を与えていない
- ・ K断層は2号機原子炉建屋の方向に延びていない

左記は観察事実であり、現場で確認する事項が多いことから現地調査を強く要請



日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713（土日祝日を除く9時～17時）

敦賀発電所安全対策および敷地内破砕帯調査に係る情報については、当社ホームページにも掲載しています。 <http://www.japc.co.jp>